

日本歯科医師会生涯研修事業認定

特定非営利活動法人 日本成人矯正歯科学会 第19回秋季学会セミナー

埋伏歯

— 矯正医、口腔外科医それぞれの立場からの見解 —

講師

医療法人オーソネットワーク理事長

田井規能先生

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

顎口腔再建外科学分野

岡山大学病院 口腔外科（再建系）教授

飯田征二先生

日時：2015年10月29日（木） 18:30～21:00

会場：フクラシア東京ステーション6L

東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル6階

サテライト会場：

ニッセイ新大阪ビル18階

大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル18階

特設：北海道 ロワジールホテル函館

北海道函館市若松町14-10

埋伏歯

—矯正医、口腔外科医それぞれの立場からの見解—

埋伏歯は比較的高頻度で見られる歯の位置異常のひとつであり、咬合状態にさまざまな影響を及ぼす。局所的な不正咬合のみならず、歯列の発育に対して障害を与え、さらに審美的・機能的にも問題となることが少なくない。したがって個性正常咬合の付与を目的とする矯正歯科治療では埋伏歯の状態を評価し、以後の萌出誘導や抜歯あるいは経過観察などの処置の決定は、重要な診断過程である。しかしながら、これまで埋伏歯の誘導、長期の予後を含む管理に関連する矯正歯科治療や外科処置について詳述した論文や書籍は決して多いとはいえない。今回、演者は Dr. Vincent G. Kokich と Dr. David P. Mathews により共同執筆された埋伏歯治療の集大成といえる「埋伏歯」の翻訳させていただく機会を得、あらゆる歯種や埋伏状態を網羅して、系統立った記述がなされている本書より、改めて自身の知識の整理に大いに役立てることができたと感じている。本講演では本書に記載されているクリニカルヒントを随所に取り入れた上で我々の症例をもとに矯正歯科医の立場から、埋伏歯への考え方を示したい。

一方、矯正治療の有無にかかわらず、歯科医師として患者を診察し、埋伏歯が認められた場合、その埋伏歯が将来にわたって生じうる不快事項は説明することが望まれると考える。生活習慣などによって影響を受ける萌出した歯牙と異なり、埋伏している歯は長期にわたって無症状な状態で疾患を育むことがある。少なくとも通常みられる埋伏智歯に関しては、萌出途上での歯冠周囲炎とそれに続く炎症や隣接歯への影響については一般的に説明されている。しかし、歯冠部を覆う歯囊から発生する嚢胞や歯源性腫瘍などの顎骨疾患についての発生の可能性については、頻度が低い事からあまり説明はされていない。また、実際に埋伏歯を抜歯する場合においてもその時期や年齢によっても治癒や術後の周囲への影響などが異なるなど、抜歯を行う歯科医師以外はあまり説明されることはないと思われる。このように、どの時期にどうすべきであったかを演者の経験をふまえ、いわゆる顎骨内のサイレント爆弾ともいえる埋伏歯への考え方を口腔外科医からの立場からお示しする。

略歴

医療法人オーソネットワーク理事長
田井 規能 (たい きよし) Kiyoshi Tai, DDS, PhD
日本矯正歯科学会認定医, 日本成人矯正歯科学会認定医



1986年 岡山県立新見高等学校卒業
1992年 徳島大学歯学部卒業
1992年 岡山大学歯学部 第二補綴
(現; 咬合・口腔機能再建学分野) 入局
1997年 岡山大学歯学部 顎顔面口腔矯正学分野 入局
1999年 The Tweed Course (The Charles H. Tweed Foundation, Tucson Arizona) 修了
2012年 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科卒業

〈職歴〉

2000年~ たい矯正歯科開業
2002年~ 医療法人オーソネットワーク理事長
2009年~ アリゾナ ATS 大学ポストグラデュエート
矯正プログラム臨床准教授 (非常勤)
2010年~ 14年 韓国キョンヒ大学臨床准教授 (非常勤)
2010年~ アリゾナ矯正センター臨床アドバイザー (非常勤)
2013年~ International Dental Hygienist College (IDEHC)
インターナショナル岡山歯科衛生専門学校 歯科矯正学
講師
2013年~ 日本成人矯正歯科学会
(Japan Association of Adult Orthodontics; JAAO) 認定医
研修プログラム 講師
2015年~ アリゾナ ATS 大学ポストグラデュエート
矯正プログラム臨床教授 (非常勤)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
顎口腔再建外科学分野
岡山大学病院 口腔外科 (再建系) 教授
飯田 征二



1986年3月 大阪大学歯学部卒業
1989年4月 大阪大学歯学部口腔外科学第一講座
研究生
1988年7月 大阪通信病院歯科口腔外科 医員
1989年4月 大阪大学歯学部附属病院 医員
1995年10月 大阪警察病院歯科口腔外科 副医長
1996年4月 大阪大学歯学部口腔外科学第一講座 助手
2000年3月 大阪大学歯学部附属病院第一口腔外科 講師
2000年11月 文部省長期在外研究員として、
ドイツ ハイデルベルグ大学 顎顔面外科学講座へ
留学 (~2001年6月)
2009年11月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
顎口腔再建外科学分野 教授
2014年4月 岡山大学病院 副病院長 (歯科系代表)